團體交涉權は可 まだ不滿足ゝ殘つてるこ罷工團頑張る

文三郎少將が拝謁し灘中通共益社に趣き協議會合して居た兩工場の交涉委員大矢中外十數名及賀川豐彦新進會長安藤國松、友愛會松岡理事等こ會見の上該回答を交附熟議した處何れも團體交涉權に關しては是で大體滿足の意を示したが殘りの項目に對し今少し要求に近づいた回答を求め然る後職工に回答案採擇の可否を圖る事こ成り二十八日午前十時から西區四貫島町森田鐵工場跡に開いた電線製鋼兩工場職工大會には單に回答文を張出し殘餘の要求貫徹の爲め一層結束を堅ふせよこ各辯士力說して散會した解雇手當等に就いて製鋼所側電線所側で非常な要求額の相違があるので何れは是れを平均して新に要求する事こなるらしい

伸銅所も滿足の態

住友伸銅所新進會では廿八日製鋼電線兩罷工團に對し赤誠を捧げて凡ゆる經濟上の援助をなすこ共に横斷組合問題に對し會社側の態度如何によつては更に積極的行動を採らうこ云ふ激勵の決議文を姉妹兩會社の罷工團に送つたが別稿會社側の回答案は伸銅所側よりの要求に對し明

梅田驛前瓢屋旅館及恩貴島町の工場並に西野田阪神前に出張所を設け軟派職工の申込を受けて居るが會社の峻嚴なる態度表明により阻止運動が無かつたので梅田驛前の分午後一時半頃迄に二百九十四名本工場六島の分約三百に近く會社側では大々的に樂觀してゐる

治警違反で二人

住友電線製鋼所職工市內西區九條下の町川島緒一同中島南の町北松德松の兩名は二十六日朝日橋署に檢束された事實は二十二、三の兩日同所職工藤澤九平、白川崎次郎、友治小吉、田中兵太郎等の自宅を訪問して毆打脅迫したので治安警察法違反こして目下取調中

罷業女工に同情の仲居

晝夜の收入を寄附 府下西成郡稗島村新道ー○○亭の仲居新堂ゆき(二○)外二名は住友電線の罷業團員中の女工に同情し夜は本職より得る收入を晝は行商して得た純利を毎日寄附してゐるので同罷工團はかりでなく友愛會員中にも評判こなり純眞なる勞働者の援助者だこ感謝

してゐる

爭議批判演說

廿八日午後七時より天王寺公會堂で住友電線製鋼相澤造船所の爭議批判演說會が友愛會の主催で開かれた入場料二十錢を徴したが滿場の入りで松岡理事以下十數名熱烈の氣勢を揚げ十時過無事散會した

住友爭議 問題解決曙光

横斷組合を非公式に認む 最高幹部の會議決定

住友總本店では電線製鋼兩所に於ける勞働爭議が其の成行の如何に依りては住友全事業に波及するの虞あるより最高幹部に於いて愼重凝議する所あつたが廿八日朝午前九時に至り漸く一の成案を得た、右に依れば横斷組合は非公式に是れを認め此際工場委員會制度を確立し職工の福利を增進する事こなつたもので其內容は左の如しこ(大阪)

△當所職工は從來の通り任意に他の團體に加入する事を得る者こす

△又當所內職工の意見を徴する方法こしては議員の半數は當所指名の社員により半數は職工の選出による工場協議會を組織し勞働時間物價指數の高低に順應する最低賃銀の增減、保健衛生危害防止、互助共濟、娛樂、休養風紀、教育其他職工の幸福增進に關し當所諮問又は議員の提案を審議調査し其決議を當所に提出せしむべし

△其組織及議事方法の詳細に至りては決定の上更に發表すべし

一般投票の結果 住友の罷業は打切 二日から一同揃つて出勤

罷業繼續か、打切か、住友電線製鋼兩工場の委員は三十日一般投票により決めたこころ電線は各工場代表者十四名中八名が打切、製鋼は實行委員百五十七名中百十八名、十九で何れも打切の意思を表示した者が多數だつたので午前十一時から西區四貫島町森田鐵工所跡で報告演說會を開き大矢委員より經過を報告した、約六百の職工中には飽く迄初志の貫徹を期し打切不可論者も多く委員總辭職を絶叫する者も少からずあつたが結局打切る事に決し大矢委員以下數名の委員は午後三時住友總本店に理事中田錦吉氏を訪ひ右の旨を告げた大矢(製鋼)委員は語る

團體交涉權の獲得は相手が住友だけに吾々は大成功だこ思ひ退職手當其他は中等以上の收穫が得たものこ信じて此際の爭議が打切る事に決した譯です、尚ほ百餘名の強硬論者は飽迄も貫徹するまで戰ひ續けよこ主張しますが、之れ以上の爭を續けては吾々に取つても不利であるから此際に住友の英斷に對して讓歩すべきものだこ反對の覺悟で明日は之を解決を結んだ譯で、二日から作業に一同揃つて出勤する事になりました

一方兩工場當日の出勤者は電線百六十六名、製鋼二百六十名で右の職工は何れも午前十一時十一分西成線安治川口驛發の列車で歸途についた

住友の爭議も漸くにして解決した

實行委員の無記名投票の結果は爭議打切り說が多數だつた

大阪住友電線、同製鋼の兩工場の爭議は廿九日夜住友總本店に於ける勞資雙方の會見により兩者の互讓で圓滿解決の模樣であつたが果して卅日午前十一時西區四貫島町の製鋼所罷工團本部圓鳴館に電線製鋼兩工場の實行委員を參集、團體交涉權の獲得だけで爭議を打切るか或は繼續するかにつき無記名投票を行つた結果左記の通り爭議打切り意見が大多數を占め茲に職工側は兩工場こも戰鬪を中止する事に決した

製鋼所側 爭議繼續三九票▲同打切一八票

電線製造所側 爭議繼續六▲同打切八

斯くて實行委員等は兩工場の罷業職工を同所大觀亭勞働會社工場に集め大矢製鋼所側實行委員が兩工場の委員を代表して爭議を打切るに至つた經過を報告し一同の諒解を求めた尤も一部には尚硬論を主張する者もあつたが大勢は大矢委員の報告を諒こし正午過ぎ散會した かくて實行委員等は前夜總本店に於ける約束に從ひ午後三時一同打連れて總本店に出頭中田理事其他幹部こ會見、一應爭議を打切る旨を述べ尚出勤期日につき協議して引揚げた

右につき兩工場の實行委員は交々語る

戰は大體に於いて成功 實行委員談

多數意見に從ひ一應爭議を打切る事になつたのですが戰ひは大體に於て成功だこ云つて可いでせう、第一アノ團體交涉權を獲得した事は私共の私かに誇りこする所であります、解雇手當も希望通りには行かなかつたが先づ成功だこ思つてゐます、賃金値上問題は會社の聲明を諒とし近々會社が發表するのを俟つた上の事です、犧牲者に就ては心配して居るのですから問題ではありません

增給發表が數日遲れる 中田住友理事談

一方會社側中田理事は語る

職工諸君が會社の誠意を諒こして爭議を打切つて呉れて何より嬉しい、犧牲者の事については未だ考へてゐない、增給に就ては明日(一日)增給を發表する筈であつたが手當の爲め調査が進んでゐないから尚數日遲れるであらう、コレも諒解を得たいものだ

因に罷業職工は七月一日又は二日から出勤する事になるであらうこ

警察官糺彈演說

友愛會大阪聯合會主催で七月一日午後六時より天王寺公會堂で演說會を開き最近勞働爭議に關し警察官の態度を糺彈するこ

住友の爭議 全く解決 投票により會社側の提議を容る

三十日住友總本店こ會社側幹部會見した住友電線兩工場職工側の實行委員等は、三十日午前十一時會社側幹部を訪問し會見の顚末に就き報告し直に協議の上、會社の回答を容るゝや否やに就き投票の結果、爭議繼續を可さするもの四十票五非とする者百二十六票にて遂に爭議を打切る事に可決し、代表者は總本部幹部に回答の手續を取りたり(大阪電話)

會社側に誠意なし

森田鐵工所で開催した住友職工連の大演說會

罷業した住友製鋼、電線兩所の罷業職工は二十九日午前十時四貫島の森田鐵工所に於て職長會を開催し應援辯士の友愛會泉尾支部長松岡氏は交々壇に立つて會社側の態度に一片の誠意だも認め得ないと熱辯を振ひ二十八日共益社で會社側の西崎久藤兩氏に待ち呆けを喰はされた各實行委員等は其顚末を逐一報告して飽迄持久戰あるのみと叫び委員の罷業職工はロ々に「持久戰」「罷業繼續」を唱へ罷工團は一層結束を固めて待久戰に出る模樣であるが之に付いて住友總本店の中田理事を訪へば

要求書の第一節は容認したなれば多分職工側も讓歩して出勤して呉れるものこ思つてゐます二十八日に西崎君や久藤君が實行委員こ會ふこ云ふ約束に就いては寸毫も知らない事で職工達が再び騷いで居るとすれば多分何かの行き違ひでせう

こ意外の樣な面持であつた尚二十九日午前十一時頃共益社を訪ふた賀川豐彦氏は此の問題の前後策に就いて午後から伸銅所の小畑ご會見する筈である。

團體交涉權以外は 會社側讓歩せず 職工側更に協議交涉せん

製鋼、電線、伸銅三工場から提出した要求條項に對し住友總本店では團體交涉權以外の條項に對しては些の回答より一歩も讓る事は出來ぬこ主張し、職工側委員この會見にも應じない有樣なので職工側では更に協議の上再交涉をする豫定であるが、二十九日正午迄には未だ何等具體的の案も出來ず雙方共に睨み合つて一步も讓らぬ態度を採つて居た

臨時出張所を廢止し 製鋼所勸誘狀を配る

團體交涉權の折合が附き、賃銀增給、退職手當の問題を殘すのみこなつた住友製鋼所に於ては最早職工の切崩し喰止めの一策こして設けた梅田、野田兩所の出張所の必要なしこ二十九日限り出張所を閉ぢ同所に歸參を希望する職工の多きを知り二十九日附けで左の注意書を各職工の家へ郵送した

先日開設して居ました梅田、野田の兩出張所は今二十九日限り引き揚げる事となりました、而して先般の回答に異議なき方は明日より平生の通り規定の時間に當所へ出勤なさい

此の通知書でどの位の職工が出勤するこさかは豫測出來ない

住友職工復職に愈決

爭議勃發以來二旬も重ねたる住友電線製鋼兩所職工二千名は過般會社の聲明に依り團體交涉權、工場委員會等の提案容れられたるを機に手當金問題にて再交涉を重ねつつあつたが去る二十九日午後六時より中田、山下兩理事、製鋼、電線兩所支配人立會の上協議を遂げたる結果手當金問題は職工側に於て讓歩する事こなり兩所實行委員百餘名は卅日朝四貫島罷工團本部に會し會社こ協議の內容を大會に報告し委員より報告しその可否を投票に問ふた結果會社の妥協案を是認し復職すべしとする說多數を占めた大矢氏は即刻森田鐵工所跡に職工一同を集めて其旨報告し一日から就職する事になつた(大阪)

住友罷業打切 二日から出勤

罷業繼續か打切りか住友電線製鋼兩工場委員は一般投票に依つて確め結局打切り多數にて午前十一時西區四貫島町森田鐵工場跡に報告演說會を開き打切りに一決して大矢委員以下數名は午後三時に住友總本店に中田理事長を訪ひ右の旨を告げた大矢委員は語る(大阪電話)

團體交涉權の獲得は住友丈に吾々の大成功こ思ふ退職手當其他は中以上の收穫を得たものこ信じて今度の爭議を打切る事こ決した是以上爭ひを續けては吾々に執つても不利であるこ考へ強硬論者反對は覺悟の前で此處に圓滿に解決を結んだ譯で明一日打揃つて出勤する事となるでせう云々

住友は落着 實行委員も職工も打切こ決定

大阪住友電線製鋼兩所の爭議は卅日午前十一時西區四貫島町製鋼所罷工團本部圓鳴館に兩工場實行委員を集め、爭議繼續か否かを投票で決し爭議を打切る事に決し兩工場員に經過を報告し午後三時總本店に出頭幹部こ會見一應爭議を打切る旨を述べた(卅日、大阪發)

團體交涉權確認を一段落に 友愛會は手を引く

住友の爭議には今後携はらぬ

團體交涉權に關し會社の具體的回答に接して滿足の意を表した住友電線製鋼兩工場職工は更に解雇手當其他の待遇改善條項に付き種々の要求を多少讓歩して妥協案を作成し二十八日夕刻實行委員井上外十名は北區總本店に赴き人事課の津田氏に會見したが手當其他の件は既に明答して置いた通りであるさ妥協案を突き返され一同は叙通共益社に引取り二十九日も引續き賀川豐彦、松岡駒吉氏等が協議中であるが友愛會の態度は團體交涉權に對して回答を受取つた迄を一段落こして罷業團こは一切交涉せぬ事を期したとあるが山下理事は語る

「團體交涉權に就ては再度の回答は決して讓歩した譯で無く最初回答したこ同樣の內容を說明した丈けで手當の件は既に發表したのだからあれ以上のことは出來ないあれだつて他の工場より遙に善い待遇を職工に與へ得るものこ信ずるから今後はどんな交涉を申込んで來ても一切受けつけない云々」

尚罷業職工は前日同樣四貫島森田鐵工所方で演說會を開き友愛會其の他の應援があつた

罷業を強要して檢事局送り

住友電線所罷業職工北村加賀英の兩名は出勤職工の勸誘者に傷害の廉で二十九日朝日橋署より檢事局に送られたが同人等は午前十一時頃電線工米山和太郎、長田長八郎が出勤せんとするを押へて西區安治川口で罷業を強制したのを朝日橋署に檢擧されたものである

住友罷業團 行商擴張

行商隊を五十九組にする

住友兩工場の罷工團は罷業資金調達の爲め行商隊を編成し市內各所に日用品を販賣し居るが賣上げも意外に多額な爲に二十九日からは規模を大きくし隊を五十五に分け市內商店等にも入り込んで販賣中である

就業職工に尾行して保護

二十八日正午迄の住友電線所入場職工は二百五十名同製鋼所本工場及び梅田驛前瓢家旅館、野田阪神驛前出張所等を併せて三百六十二名であるが兩工場共に朝日橋署を初め市內各署より應援の警官數百名街道及工場を警戒し出勤職工には尾行して保護を加へてゐる